

平成24年9月21日

「特別な監視体制」終了について



本県の要請により国が実施した大飯3、4号機の「特別な監視体制」が、昨日終了し、原子力規制委員会に引き継がれた。

この間、牧野経済産業副大臣のリーダーシップのもと、国はもとより、関西電力、民間メーカーの三菱重工、三菱電機、地元の協力企業の方々の昼夜を問わない努力により、プラントの安全が守られたことに、改めて感謝する。

この体制では、毎日のテレビ会議による関係者の情報共有、警報に対する徹底した原因究明、迅速な情報公開にも留意したところである。

原子力規制委員会においては、今回の監視活動で得られた経験、ノウハウを活かして、引き続き安全管理と事故制圧に万全を期してほしい。